

G7プーリア・サミットにおける
グローバル・インフラ投資パートナーシップ（PGII）に関するサイドイベント
岸田総理発言内容

PGIIに関するこのイベントの開催に際し、メローニ首相とバイデン大統領のリーダーシップに敬意を表します。アフリカをテーマとしたこのイベントは、時宜を得たものです。

我が国は、約30年前にTICADを立ち上げ、近年はFOIP協力も推進しつつ、アフリカに寄り添い、アフリカ自らが主導する成長を後押ししてきました。その中で、ナカラ回廊をはじめとする広域開発にも注力してきました。PGIIの下で現在進んでいるロビト回廊開発とともに、アフリカ南部地域の東西で連結性を向上させ、投資環境を改善し、新たな成長の起爆剤となるでしょう。

また、本年4月には、米国と共に、PGIIの下でフィリピンにおける「ルソン経済回廊」を発表しました。PGIIの取組は、アフリカを越え、アジアにも広がっています。

我が国は、アフリカを含む全世界において、5年間で650億ドル以上のインフラ支援と民間資金の動員を表明しています。また、来年夏、アフリカ各国の首脳を日本にお招きし、TICAD9を開催します。G7とPGIIの成果をTICADにもつなげ、質の高いインフラの力をもって、引き続きアフリカの成長を強力に後押ししていきます。